

(2008/9/21版)

第2回赤道大気レーダーシンポジウム 第105回生存圏シンポジウム

日時: 平成20年9月25日(木) 13:00~18:10 (懇親会 18:15~20:15)
26日(金) 9:30~16:30

場所: 京都大学宇治キャンパス木質ホール大会議室

主催: 京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月25日

(座長: 橋口浩之)

13:00 - 13:10 あいさつ

赤道大気レーダー全国・国際共同利用専門委員長 山本衛(京大RISH)

13:10 - 13:30 南大 西洋収束帯の形成に及ぼすブラジル高原の影響

児玉安正・佐川智孝(弘前大理工)・吉兼隆生(FRCGC/JAMSTEC)

13:30 - 13:50 EARで観測されたUTLS鉛直流変動の日周変化

古津年章(島根大)・児玉安正(弘前大)・柴垣佳明(大阪電通大)・
下舞豊志(島根大)・川島正行(北大)

13:50 - 14:10 西太平洋の熱帯対流圏界面層(TTL)におけるcirrusの観測

藤原正智(北大)・岩崎杉紀(防大)・清水厚(環境研)・稲飯洋一
(北大)・塩谷雅人(京大)・長谷部文雄(北大)・松井一郎(環境
研)・杉本伸夫(環境研)・岡本創(東北大)・西憲敬(京大)・濱田
篤(京大)・坂崎貴俊(北大)・米山邦夫(JAMSTEC)

14:10 - 14:30 全球非静力学大気モデルを用いた熱帯対流圏界面領域の解析

久保川陽呂鎮・藤原正智(北大環境科学院)・那須野智江
(FRCGC/JAMSTEC)・佐藤 正樹(東大CCSR)

14:30 - 14:50

=== 休憩 ===

(座長: 植松明久)

14:50 - 15:10 インド洋域における上部対流圏循環の鉛直微細構造

西憲敬(京大理)・西本絵梨子(京大RISH)・林寛生(JAXA)・塩谷雅人(京
大RISH)・高島久洋(FRCGC/JAMSTEC)・津田敏隆(京大RISH)

15:10 - 15:30 Diurnal variations in precipitable water observed by shipborne GPS
over the tropical Indian Ocean

安永数明・藤田実季子(JAMSTEC)・牛山朋来(農業環境技術研究所)・米
山邦夫(JAMSTEC)・高藪縁(東大CCSR)・吉崎正憲(JAMSTEC)

15:30 - 15:50 赤道域における雷活動の観測

足立透・山本衛・橋口浩之(京大RISH)・森修一・櫻井南海子
(JAMSTEC)・大矢浩代(千葉大工)・土屋史紀・高橋幸弘(東北大
理)

15:50 - 16:10 マルチスタティックシステムで観測された局所風速場の変動

西村耕司(情報・システム研究機構)・佐藤亨(京大情報学)

16:10 - 16:30

=== 休憩 ===

(座長: 柴垣佳明)

16:30 - 16:50 ラジオメーターとラジオゾンデによる水蒸気密度観測結果の比較

下舞豊志・佐藤玄一・古津年章(島根大)

16:50 - 17:10 Observation of horizontal wind in the lower troposphere by the
Equatorial Atmosphere Radar during 2001-2007

Tri Handoko Seto(京大RISH/BPPT)・田畑悦和・山本真之・橋口浩之
(京大RISH)

- 17:10 - 17:30 ポンティアナにおけるラジオゾンデ観測の初期解析結果
田畑悦和・橋口浩之・山本真之・山本衛(京大RISH)・柴垣佳明(大阪電通大)・下舞豊志(島根大)・山中大学・森修一(JAMSTEC)・Fadli Syamsudin(BPPT, インドネシア)・Timbul Manik・Erlansyah(LAPAN, インドネシア)
- 17:30 - 17:50 赤道域気象学・気象観測の現状と今後
山中大学 (IORGC-JAMSTEC/神大理)
- 17:50 - 18:10 教育研究プログラム「Elucidation of ground-based atmosphere observation network in equatorial Asia」の初年度活動報告
津田敏隆(京大RISH)・藤吉康志(北大低温研)・山本真之・古本淳一・中村卓司・堀之内武(京大RISH)・岩崎杉紀(防衛大)

18:15 - 20:15 === 懇親会 (プログラム末尾をご覧ください) ===

9月26日

(座長: 櫻井南海子)

- 9:30 - 9:50 温帯および赤道域における衛星回線降雨減衰の周波数スケール特性
前川泰之・柴垣佳明(大阪電通大)・佐藤亨(京大情報学)・山本衛・橋口浩之(京大RISH)・深尾昌一郎(東海大/京大RISH)
- 9:50 - 10:10 CloudSat雲レーダ観測を用いた静止衛星Split-window観測による熱帯域上層雲の種別および物理・光学量の推定
濱田篤・西憲敬(京大理)
- 10:10 - 10:30 CloudSat/CALIPSOと赤道大気レーダーで観測された対流雲の解析
植松明久(NICT)・妻鹿友昭・山本真之・橋口浩之(京大RISH)・下舞豊志(島根大)・阿保真(首都大)・大野裕一(NICT)・山中大学(JAMSTEC)
- 10:30 - 10:50 赤道大気レーダーによる対流雲内の鉛直流観測
妻鹿友昭・山本真之・橋口浩之(京大RISH)・植松明久(NICT)・山中大学(JAMSTEC)・山本衛(京大RISH)

10:50 - 11:10 === 休憩 ===

(座長: 下舞豊志)

- 11:10 - 11:30 赤道大気レーダー・降雨レーダー観測に基づいた西スマトラ山岳地域における降水活動と下層風との関係
柴垣佳明(大阪電通大)・古津年章・下舞豊志(島根大)・橋口浩之(京大RISH)・濱田純一・森修一・山中大学(JAMSTEC)
- 11:30 - 11:50 HARIMAU2006期間中に観測された日周期で移動する降水システムの内部構造及び移動メカニズムについて
櫻井南海子・森修一(JAMSTEC)・川島正行・藤吉康志(北大低温研)・濱田純一(JAMSTEC)・筆保弘徳(IPRC)・田畑悦和(京大RISH)・Emrizal(BMG, インドネシア)・Fadli Syamsudin(BPPT, インドネシア)・山中大学(JAMSTEC)・松本淳(首都大/JAMSTEC)
- 11:50 - 12:10 西スマトラにみる降水日変化の地理的分布
上米良秀行・増田耕一・森修一・濱田純一・櫻井南海子(JAMSTEC)・松本淳(JAMSTEC/首都大)・山中大学(JAMSTEC/神大)
- 12:10 - 12:30 スマトラ島周辺の降水特性と対流季節内変動の関連
濱田純一・森修一・櫻井南海子・山中大学(JAMSTEC)・松本淳(首都大/JAMSTEC)・Fadli Syamsudin(BPPT, インドネシア)

12:30 - 13:30 === 昼食 ===

(座長: 山本真之)

- 13:30 - 13:50 赤道ライダーによる雲と成層圏エアロゾルの長期観測
阿保真・長澤親生・柴田泰邦(首都大)
- 13:50 - 14:10 スポラディックNa層発生頻度のグローバル分布とCaイオンのライダー観測
長澤親生・阿保真・柴田泰邦(首都大)
- 14:10 - 14:30 EAR関連観測で明らかとなった赤道プラズマバブルの時間・空間構造
深尾昌一郎(京大RISH/東海大)・横山竜宏(コーネル大)
- 14:30 - 14:50 重力波の熱圏伝播
加藤進(京大名誉教授)

14:50 - 15:10

=== 休憩 ===

(座長: 山本衛)

- 15:10 - 15:30 インドネシアにおける電離圏沿磁力線不規則構造のレーダー観測
大塚雄一・水谷徳仁・塩川和夫(名大STE)・小川忠彦(NICT)・
Effendy(LAPAN)
- 15:30 - 15:50 赤道大気レーダーで昼間に観測された高度150km沿磁力線不規則構造
水谷徳仁・大塚雄一・塩川和夫(名大STE)・横山竜宏(Cornell大)・山
本 衛・Patra Amit K.(京大RISH)
- 15:50 - 16:10 Equatorial electrojet parameters along 210 magnetic meridian using
a thick shell model format: Preliminary results
A. B. Rabi(Space Physics Lab., Dept. of Physics, Federal
University of Technology, Akure, Nigeria)・K. Yumoto(九大
SERC)・K. Shiokawa(名大STE)・A. Fujimoto(九大SERC)・MAGDAS
group
- 16:10 - 16:30 低緯度電離圏-熱圏システムの春/秋非対称性とプラズマバブル：赤道横断
風効果の証拠
丸山隆(NICT)・斉藤享(ENRI)・川村眞文(NICT)・野崎憲朗(NICT)・J.
Krall (NRL)・J. D. Huba (NRL)

お願い

(1) 懇親会について

参加費： 一般： 4,000円、学生： 2,000円 (予定)
会場： 京都大学宇治キャンパス生協
申込み： 当日、受付にて出欠をお知らせ下さい

(2) 宿泊情報

開催場所に最も近いビジネスホテル
宇治第一ホテル (TEL: 0774-20-3333)

(3) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口(hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp)まで御連絡下さい。

(4) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

用紙： A4縦
ページ数： 4~8ページ
原稿締切： 2008年10月31日(金)
送付方法： WORDまたはPDFファイルを電子メールにてお送り下さい
あて先： 電子メール： ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp
郵送の場合は下記宛に送付
〒611-0011 宇治市五ヶ庄
京都大学生存圏研究所 橋口浩之
電話 0774-38-3819

備考： 白黒印刷で作成します。図面・写真は網掛け処理を願います。